



14. 多摩・島しょ地域における医療の充実

- 高齢化の進展や医療資源が区部に比べて少ないという多摩・島しょ地域の課題を踏まえ、誰もが必要な医療を受けられる体制を整備

多摩地域全体の医療水準の向上

- ◆ 多摩メディカル・キャンパスを再構築し、多摩地域における医療の充実に貢献

多摩メディカル・キャンパス
多摩総合医療センター・小児総合医療センター・神経病院を中心とした、多摩地域の医療拠点



- 神経病院の改築を軸に**キャンパスを再構築**
- 各病院の強みを一層発揮するとともに、**相互連携の強化**により集積メリットを高め、キャンパス総体としての医療機能を強化

多摩総合医療センター

- 救急医療等を充実強化
- 東京都がん検診センターの機能を統合し、「**外来がん検査・治療センター（仮称）**」を新設。精密検査による早期発見・早期治療を提供できるがん医療提供体制を強化

各病院の強みの発揮・相互連携の強化

難病医療センター（仮称） （現神経病院）

- 難病医療を集約の上、強化
- ほぼ全ての脳・神経系及び免疫系の難病患者に対して**高度で包括的な医療**を提供

小児総合医療センター

- 重症患者の受入機能を強化
- **小児がん拠点病院**として高度で包括的ながん医療を提供

多摩地域の医療水準向上に寄与

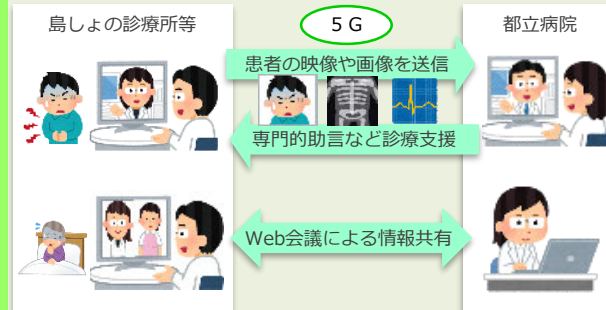
- ◆ 多摩北部医療センターを改築し、北多摩北部地域の医療提供体制を強化

島しょ地域で専門医療を受けられる体制の整備

遠隔医療の実施や看護職員の定着支援等により、島しょ地域においても必要な医療を受けられる環境を整備

- 本土・島しょ間で5G通信を用い、**高精細な映像や検査画像等を送受信**し、島しょ医療の基幹病院である広尾病院を中心とした**都立病院の専門医が、島しょ医療機関の医師に対して助言**
- 島しょの**医療・介護等関係者と都立病院でWeb会議**を実施し、患者の療養情報を円滑に共有

島しょ地域における、遠隔医療の実証実験



実証結果を踏まえて運用

島しょ医療の更なる充実

3か年のアクションプラン（主要）

具体的な取組	2020年度末 （見込み）	年次計画		
		2021年度	2022年度	2023年度
多摩メディカル・キャンパスの整備	整備手法の検討等 立体駐車場等の整備	設計等	立体駐車場工事等	整備工事等
5Gを活用した遠隔医療	導入調査の実施	八丈島で実証実験	実証結果を踏まえて運用	

2030年への展開

- 外来がん検査・治療センター（仮称）を開設【2025年度頃】
- 難病医療センター（仮称）を開設【2029年度】
- 島しょ地域において遠隔診療を実施【2030年】



17. デジタル技術を活用した島しょ地域の社会課題の解決

- 5GネットワークやAI等の積極的な活用により、生活環境の改善、産業振興、行政サービスの向上といった、島しょ地域の様々な社会課題を解決するためのプロジェクトを八丈島をモデルに小離島を含めた他島に順次展開し、サステナブルな島しょ地域の発展モデルを作る
- 島しょ地域における自治体クラウドの導入及び事務の共同化により、行政職員の負担を軽減し、将来にわたり安定した住民サービスを提供



3か年のアクションプラン (主要)

具体的な取組	2020年度末 (見込み)	年次計画		
		2021年度	2022年度	2023年度
島しょ地域におけるデジタル技術を活用した社会課題解決	八丈島をモデル地域として実証の調整	デジタル推進協議会の設立 実証事業の実施 / 八丈島での実証結果を踏まえ順次他の島へ横展開		
島しょ町村小中学校における教育のデジタル化の推進	島しょ町村小中学校のデジタル環境整備	EdTechサービス活用等のモデル事業の実施	一人1台端末を活用したオンライン学習の推進	
島しょ町村における事務事業の共同処理化	基本構想の策定	実施計画の策定 事務事業の共同処理等の具体的検討・順次開始	自治体クラウド構築・運用支援	

2030年への展開

- 八丈島で成果が得られた事業で、他島にも共通の課題の解決につながるものについて、横展開を実施【2025年】
- 島しょ自治体クラウドの運用及び事務事業の共同化により職員負担が軽減され、地域に根差した住民サービスが向上【2030年】
- 都内5Gエリアの構築100%概成【2030年】